



大野一心

NO.50

令和6年2月27日（火） 文責：校長 諸熊 修一

公立高校の入試制度が変わります！

現在の中学2年生が受検する「令和7年度入学者選抜」から長崎県の公立高校入試制度が大きく変わります。詳細につきましては、2年生には、先日、県から送られてきたリーフレットを配付していますので、それをご覧ください。また、右のQRコードをスマホ等で読み取っていただくと、県教育委員会のホームページを閲覧することができます。ぜひご覧いただけたらと思います。なお、現2年生の保護者の皆様には、お子様が3年生に進級後、県教育委員会からの詳細な説明を受けたのちに、進路説明会を実施いたします。



【主な変更点（ポイントのみ）】

1 選抜方法

旧制度（現3年生の受検制度）	新制度（現2年生からの受検制度）
・前期選抜（「A 特色選抜」と「B 文化・スポーツ特別選抜」） ・後期選抜	◆特別選抜（「自己推薦①」と「自己推薦②」） ◆一般選抜 ◆チャレンジ選抜 ※ チャレンジ選抜は、主に離島・半島の少人数教育実施校での実施

2 日程

旧制度（現3年生の受検制度）	新制度（現2年生からの受検制度）
・前期選抜：2月1日、2日 発表：2月8日 ・後期選抜：3月6日、7日 発表：3月15日	◆特別選抜：1月28日 発表：1月31日 ◆一般選抜：2月18日、19日 発表：3月5日 ◆チャレンジ選抜：3月12日 発表：3月17日

3 検査問題

旧制度（現3年生の受検制度）	新制度（現2年生からの受検制度）
①学習指導要領に基づき、中学校終了程度とする。 ②基礎的・基本的な問題を中心に出題するが、単なる知識を問うものに偏ることがないように配慮し、思考力・判断力・表現力を検査できるような問題とする。	①学習指導要領に基づき、中学校終了程度とする。ただし、一部の範囲を除くものとする。 ②基礎的・基本的な問題を中心に出題するが、単なる知識を問うものに偏ることがないように配慮し、思考力・判断力・表現力を検査できるような問題とする。なお、日常生活、社会問題などに関連した探究的な学びの要素を取り入れた問題を全体の2割程度含む。

◆調査書においては、各学校における学びの過程を重視する観点から、観点別学習状況の「主体的に学習に取り組む態度」を他の項目より比重を高めて評価されます。